

鹿部町校務DX計画

本町における校務DX計画については、文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、次世代の校務 DX 化に向けて、教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するために、以下に掲げる事項を重点的に推進する。

○1人1台端末の活用と個別最適・協働的な学びの充実

学校ではロイロノートを活用し、授業中の児童生徒・教師双方の円滑な意見交換による協働的な学びを行っている。また、AI ドリルを導入しており、授業等の進捗や1人ひとりの学習習得状況に合わせた学習の提案を可能としている。

授業改善の中で、教員自ら率先して ICT の活用を模索・実践しているところであるが、教員間の得意・不得意が使用率に影響している側面があるため、機器の使用研修や効果の検証を適宜行いつつ、より良い学びに繋がるよう努める。

○教育ダッシュボードの利用

校務・学習双方のデータを統合的に可視化し、負担を軽減しながらきめ細やかな指導を実現することを目的に、教育ダッシュボード機能の有用性及び費用対効果を調査し、今後の導入に向けて検討を行う。

○各種資料や連絡等のデジタル化

学校・教育委員会・外部との連絡や通知については、メールや連絡ツール、データ共有システムを利用することによりオンライン化を進めてきているが、依然として紙ベースでの通知や資料が多いことから、業務の円滑化・効率化を図るため、各種デジタル化及びペーパーレス化を積極的に進めていく。

○教育情報セキュリティポリシーの策定

クラウド上のデータやクラウドサービスを活用することを前提とした教育情報セキュリティポリシーを策定し、国の方向性や現状を的確に把握しながら、随時改正を進めていく。